

岩手県感染症週報

平成18年第8週（2月20日～2月26日）

岩手県結核 感染症情報センター

第8週の概要

1 類感染症

2 類感染症

3 類感染症

・患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症

5 類感染症（全数把握対象疾患）

・患者発生の報告はありませんでした。

5 類感染症（定点把握対象疾患）

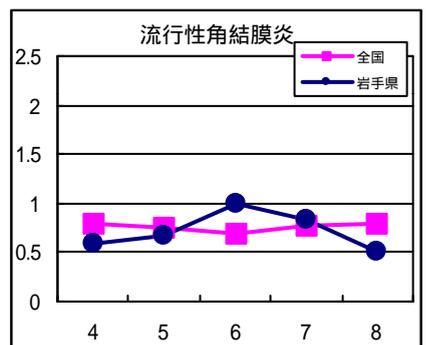
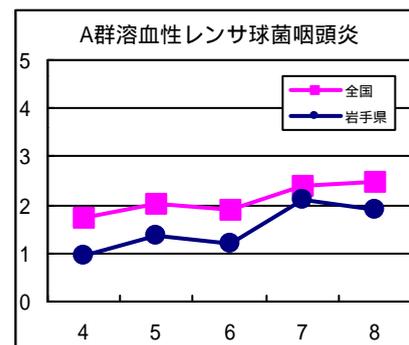
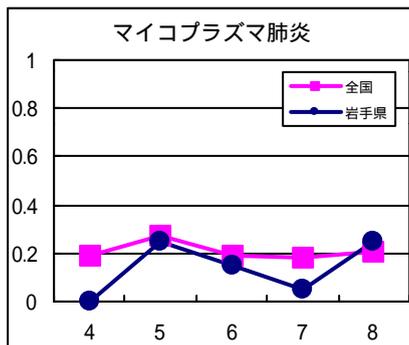
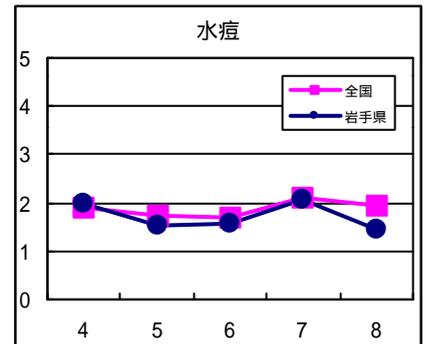
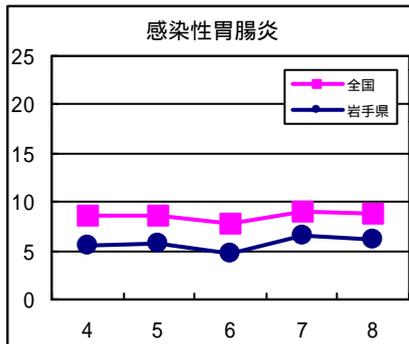
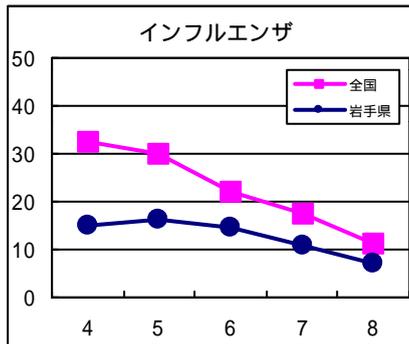
・インフルエンザは、水沢地区をのぞく全ての地区で患者数が減少しています。このまま順調に患者数が減少していけば、県内、今シーズンのインフルエンザの流行はほぼ終息へ向かうものと考えられます。水沢地区ではこの週の定点あたり患者数が12.9人と注意報値（同患者数10.0人）をやや上回った程度ですが、ここ3週ほど増加傾向にあるので今後も注意が必要です。このままインフルエンザの流行が終息すれば、過去5シーズンではもっとも小規模な流行で終わることになります。全国的にも患者数は減少してきており、前週に患者が多かった都道府県は愛知県（同患者数36.7人）、富山県（同患者数34.2人）、高知県（同患者数31.6人）でした。

・溶レン菌咽頭炎は、前週からやや患者数は減少しましたが、北上、釜石、久慈の三地区では前週から引き続き警報値（定点あたり4.0人）を超えています。

・感染性胃腸炎は盛岡、花巻、北上の県央地域で患者数が多くなっています。同疾患は、昨年12月中旬をピークに患者数は減少傾向にありましたが、本年2月に入ってから県央地域を中心に増加傾向にあります。老人保健施設や保育園などでは、依然としてウイルス性の集団感染事例が相次いでおり、徹底した消毒や正しい手洗いにより感染経路を絶つことが必要です。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		4	5	6	7	8		
インフルエンザ	岩手県	15.08	16.11	14.67	10.86	7.22	↘	
	全国	32.37	30.09	21.88	17.42	11.17		
咽頭結膜熱	岩手県	0.08	0.03	0.05	0.03	0	→	
	全国	0.22	0.24	0.26	0.28	0.28		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.95	1.36	1.18	2.1	1.92	→	
	全国	1.73	2.04	1.91	2.38	2.5		
感染性胃腸炎	岩手県	5.56	5.69	4.72	6.59	6.23	→	
	全国	8.56	8.58	7.71	9.08	8.71		
水痘	岩手県	2	1.54	1.59	2.08	1.44	→	
	全国	1.92	1.74	1.71	2.12	1.93		
手足口病	岩手県	0.41	0.08	0.08	0.15	0.13	→	
	全国	0.09	0.08	0.07	0.08	0.09		
伝染性紅斑	岩手県	0.21	0.15	0.13	0.08	0.08	→	
	全国	0.32	0.24	0.2	0.25	0.26		
突発性発疹	岩手県	0.46	0.31	0.44	0.41	0.41	→	
	全国	0.57	0.51	0.5	0.58	0.56		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.23	0.28	0.15	0.13	0.33	→	
	全国	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.62	0.31	0.51	0.51	0.46	→	
	全国	1.05	1.24	0.94	1.33	1.41		
急性出血性結膜炎	岩手県	0.17	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.03	0.02	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	0.58	0.67	1	0.83	0.5	↘	
	全国	0.8	0.76	0.7	0.77	0.79		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	655				0		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0.05	→	
	全国	0.03	0.02	0.03	0.01	0.03		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0	0.25	0.15	0.05	0.25	→	
	全国	0.19	0.27	0.19	0.18	0.21		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↘ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↙ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）									(患者発生数)	
分類	疾病名	岩手県					累計	全国		
		(週) 4	5	6	7	8		8	累計	
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	5	
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	7	61	
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	9	
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	3	
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	5	67	
四、 五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	6	79	
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	5	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	4	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	1	27	
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	1	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	0	24	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	22	
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	1	10	144	
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	9	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	1	4	
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	0	0	12	
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	4	
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	梅毒	0	0	1	0	0	2	8	71	
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	5	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	6	
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	1	1	
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	4	
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	7	58	
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0		

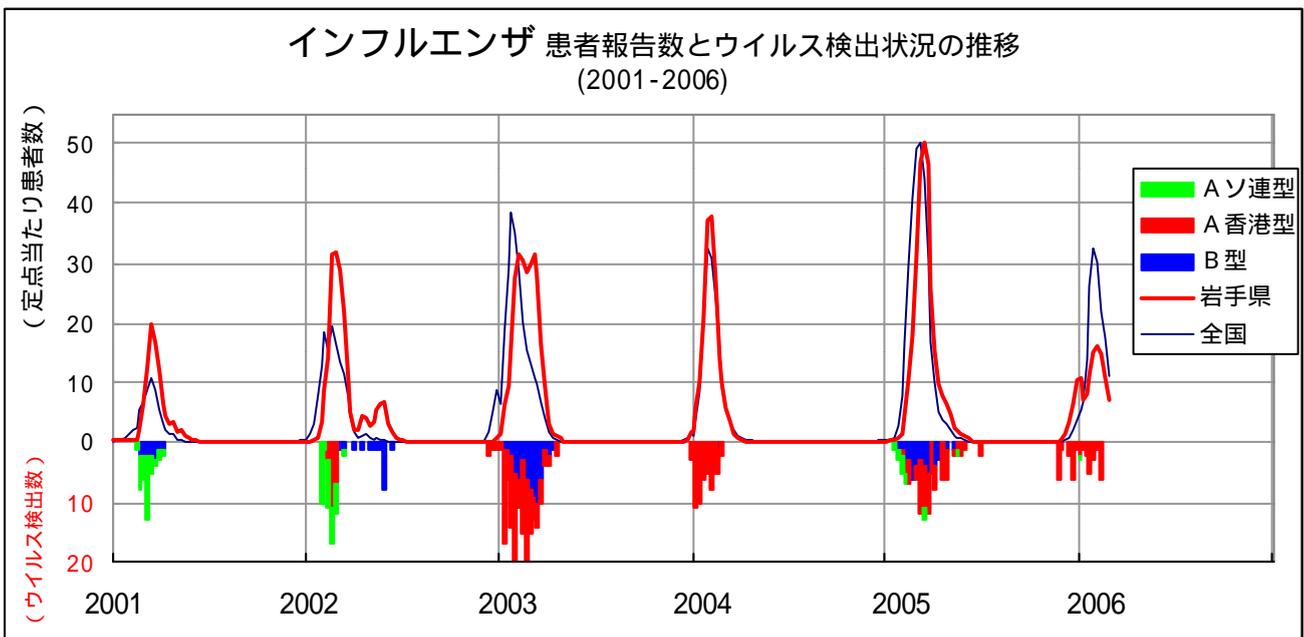
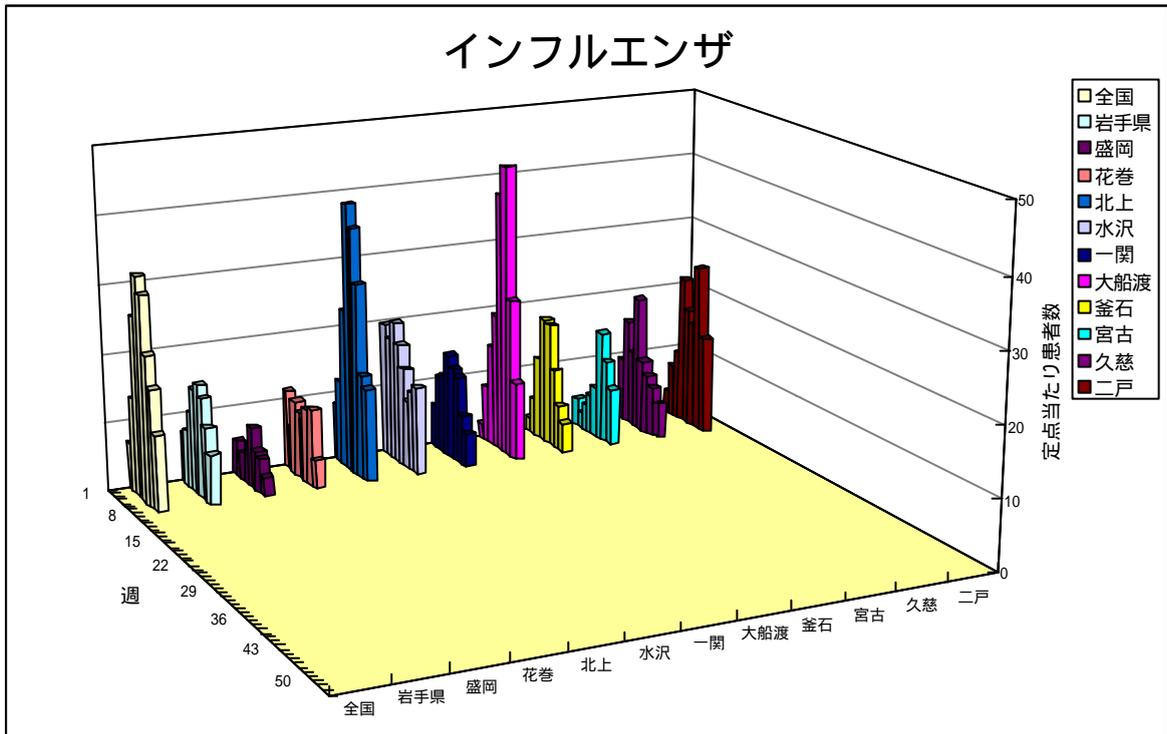
昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

今注目の感染症

インフルエンザ

インフルエンザは、例年、12月頃から患者数が増え始め、2～3月が流行のピークであるが、今シーズンは、盛岡地区では、11月に集団感染による学校閉鎖措置がとられた小学校もあり、例年よりも早い流行状況となっている。12月には年末年始休などにより、一時患者が減少したが、1月初旬から下旬にかけて患者数は再び増加した。2月第1週をピークに患者数は減少を続けており、このまま流行が終息すれば、本年のインフルエンザの流行は例年よりかなり小規模であると言える。

環境保健研究センターの病原体検査では、11月にA香港型、12月にはAソ連型インフルエンザウイルスが分離検出されている。



病原体検出情報

- ・インフルエンザ患者の咽頭拭い液から A 香港型インフルエンザウイルスを 4 例分離検出しました。

医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

集団感染情報

インフルエンザ様疾患による施設閉鎖措置等の状況（2/28まで）

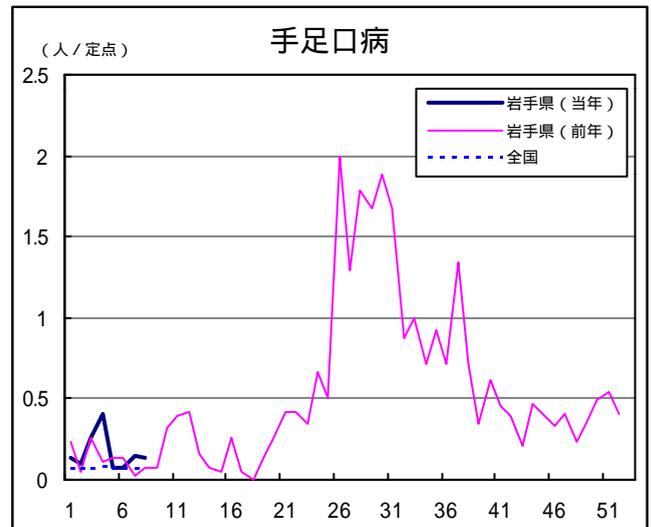
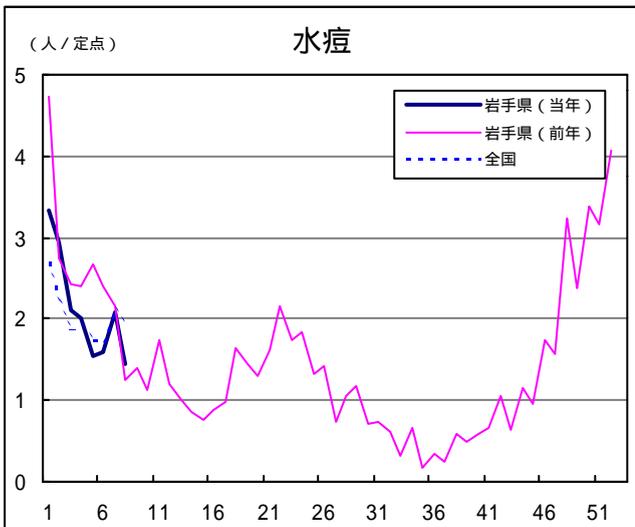
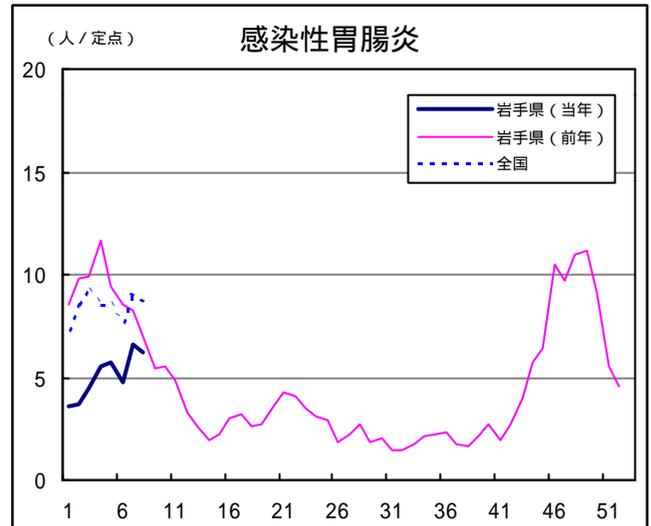
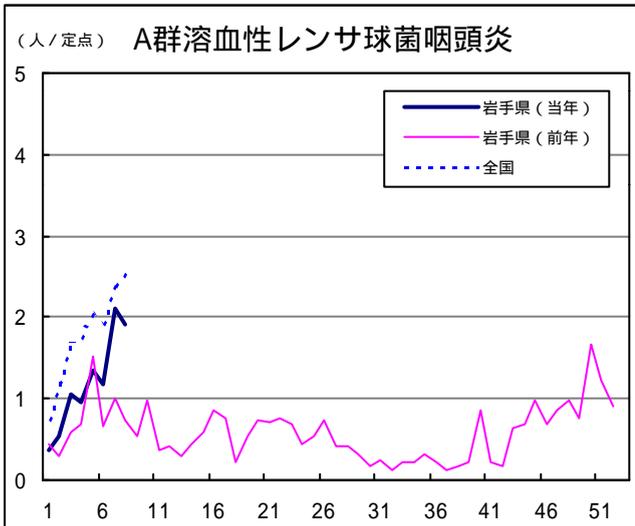
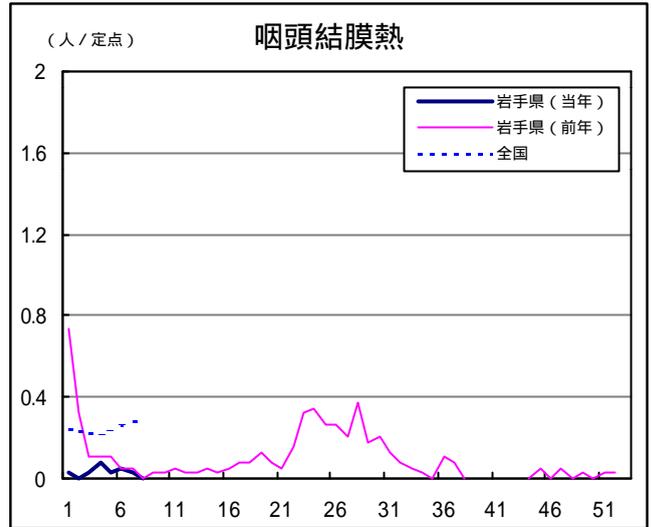
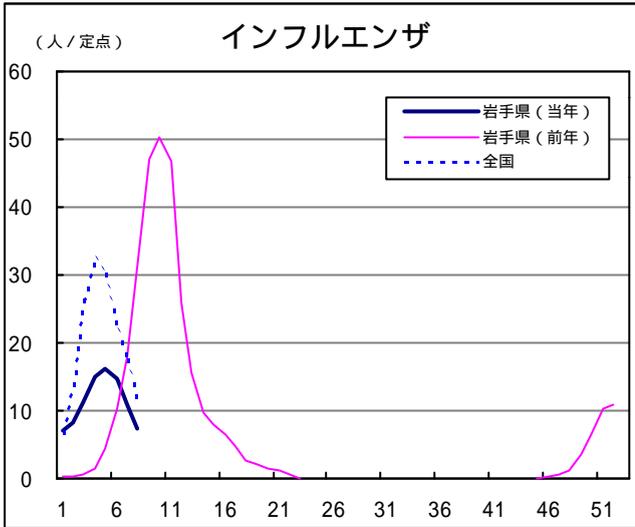
岩手県	盛岡	花巻	北上	水沢	一関	大船渡	釜石	宮古	久慈	二戸
54	15	3	6	3	5	12	0	4	1	5

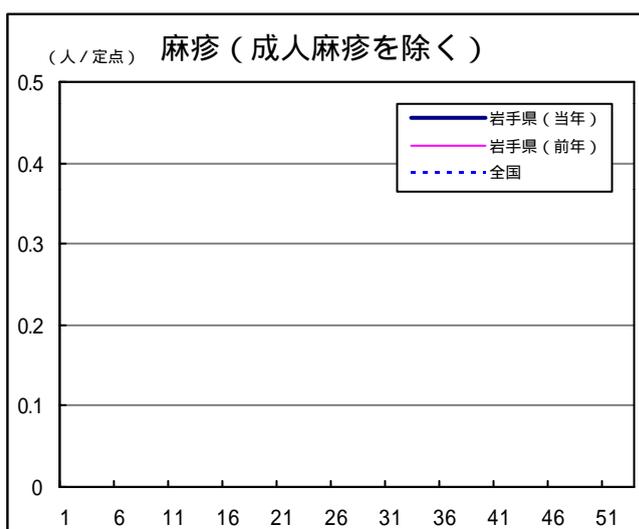
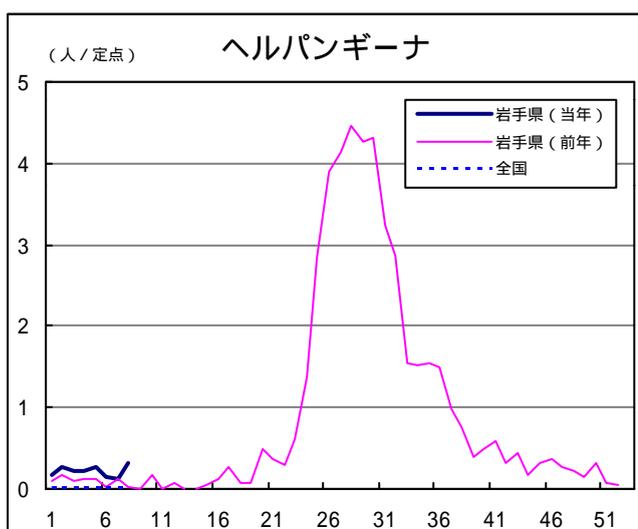
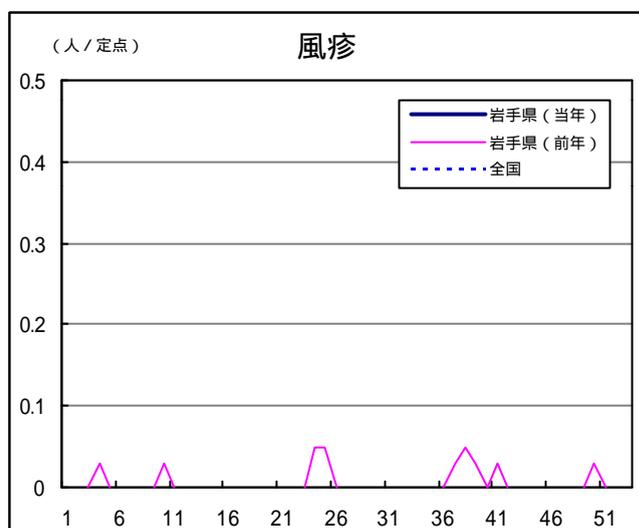
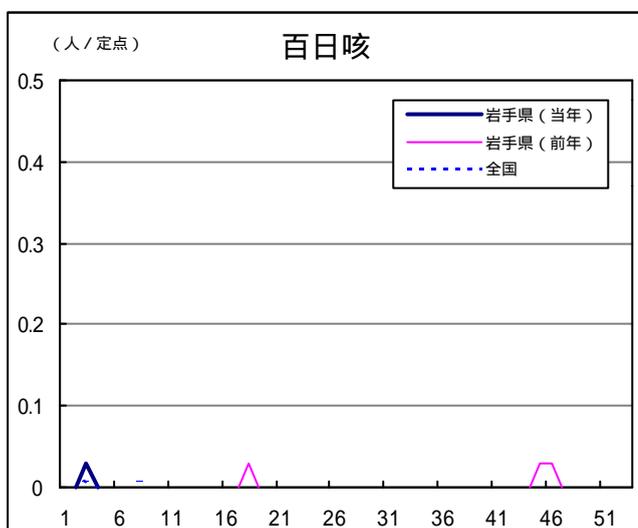
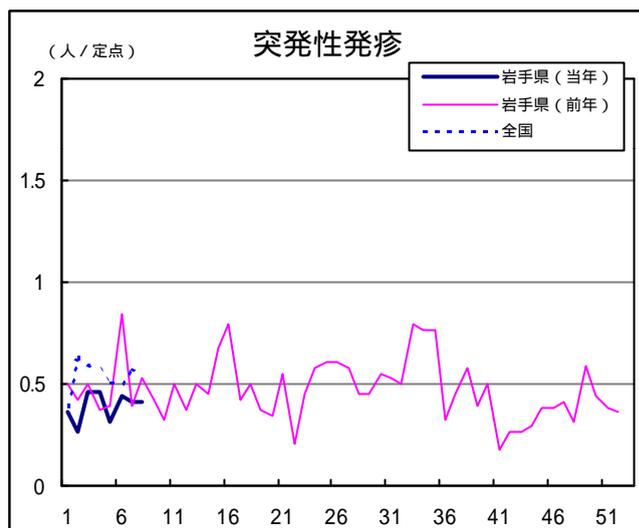
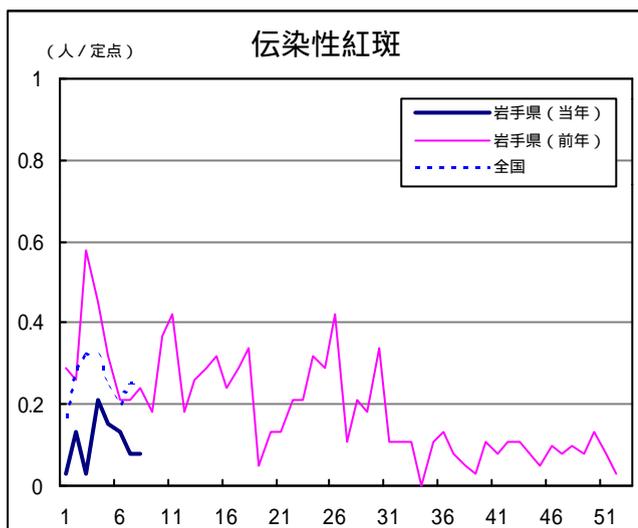
Q & A

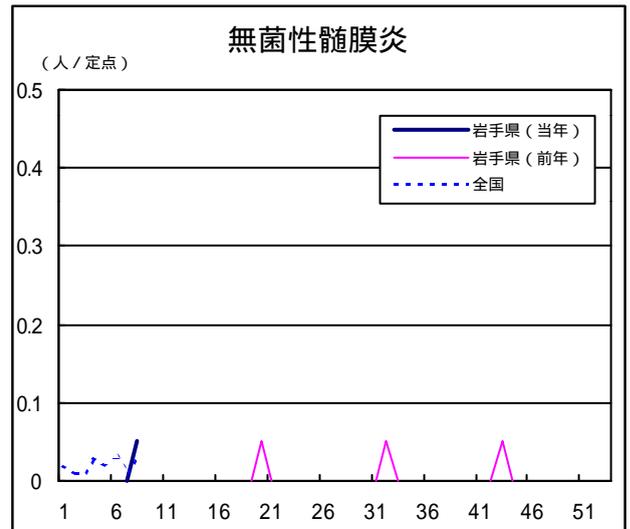
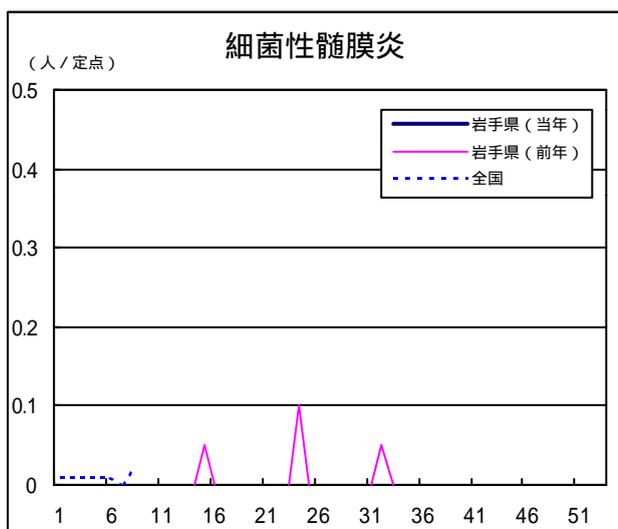
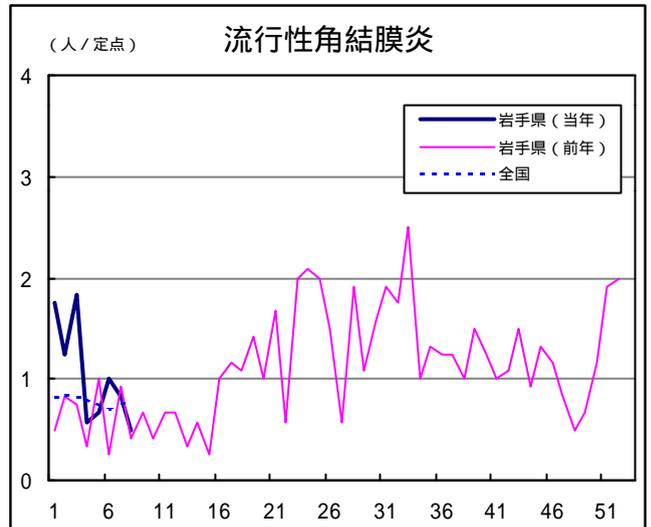
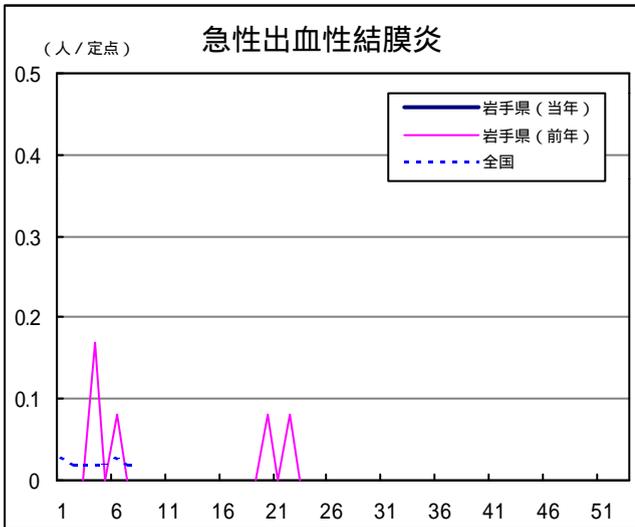
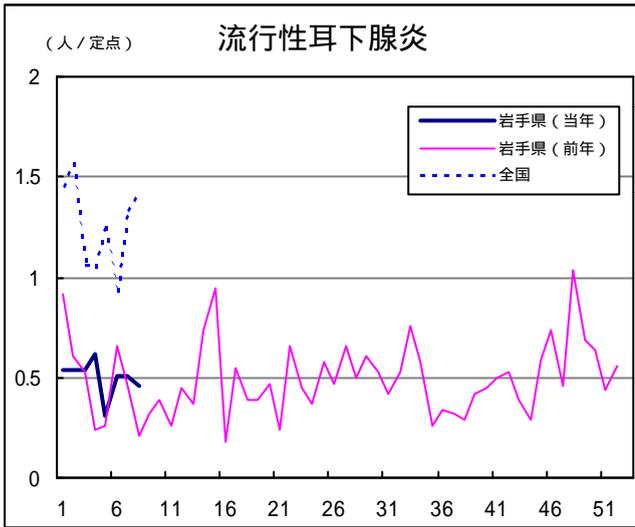
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

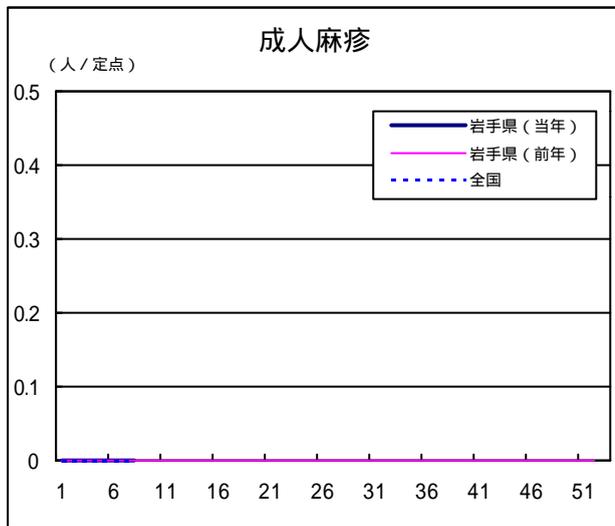
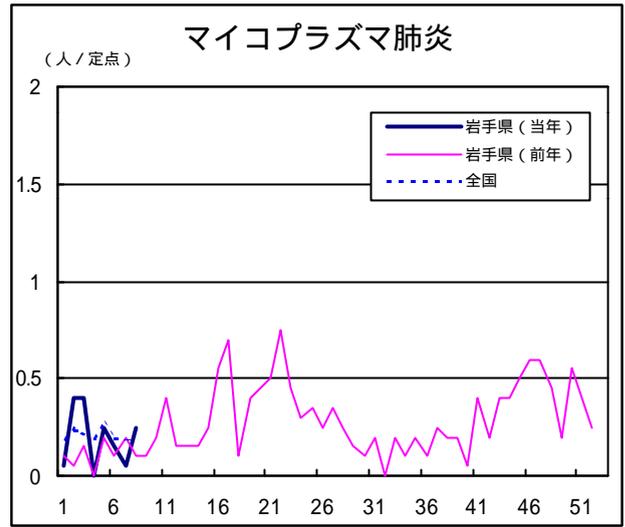
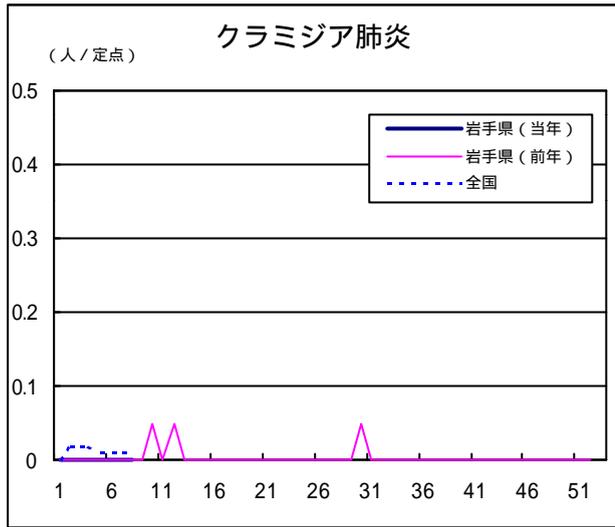
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail:CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	63	39	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成18年第8週 平成18年3月3日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 （岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>